

## 12 出題内容 ～学習指導要領との関係(詳細②)～

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第2節 コミュニケーション英語 I 2.内容</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p><u>ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</u></p> <p><u>イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</u></p> <p><u>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</u></p>	<p>○Listeningの「英文を聞いて、全体の概要および要点を把握する問題」 ある事柄についてのアナウンスを聞き、そのアナウンス自体が何について発信しているかを理解する力（概要把握力）、また、アナウンスに含まれる様々な情報の中から自分にとって必要な情報を逃さずに聞きとる力を問うている。</p> <p>○Readingの「英文を素早く読んで、全体の概要および要点を把握する問題」 Eメールを読み、このメールの主旨が何であるかを把握する力を問う出題もある。</p> <p>○Speakingの「会話応答・他者の質問に対して即座に応答する問題」 簡単な発話を聞いて質問に対して自身の意見を述べる問題が出題されており、「話し合ったり意見の交換をしたりする」力を問うている。</p>

Copyright © 2014 Benesse Corporation All Rights Reserved.

## 13 出題内容 ～学習指導要領との関係(詳細③)～

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第2節 コミュニケーション英語 I 2.内容</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p><u>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</u></p>	<p>○Writingの「項目記入・与えられた英文と状況設定を読み、条件に合った内容を書く問題」 指導要領に示されているように、「主題を決め、様々な種類の文章を書く」ことを意識し、状況に合った長さ・適した表現で文章を書く力を問うている。</p>

## 14 出題内容 ～学習指導要領との関係(詳細④)～

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第3節 コミュニケーション英語Ⅱ 2.内容</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p><u>ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</u></p> <p><u>イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</u></p> <p><u>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</u></p>	<p>○Listeningの「英文を聞いて、全体の概要および要点を把握する問題」 ある事柄についてのアナウンスを聞き、そのアナウンス自体が何について発信しているかを理解する力（概要把握力）、また、アナウンスに含まれる様々な情報の中から自分にとって必要な情報を逃さずに聞き取る力を問うている。</p> <p>○Readingの「英文を素早く読んで、全体の概要および要点を把握する問題」「目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る問題」 Webページや告知物から、自分に必要な情報を素早く検索し把握する力を問う出題がある。＜速読＞ 説明、評論文などを読み、その文章の内容に関する質問に答える出題で精読力を問う出題がある。＜精読＞</p> <p>○Speakingの「意見展開・他者の質問に対して即座に応答する問題」 他の学生からの質問に対して自身の意見を述べる問題が出題されており、「話し合うなどして結論をまとめる」力を問うている。</p>

Copyright © 2014 Benesse Corporation All Rights Reserved.

## 15 出題内容 ～学習指導要領との関係(詳細⑤)～

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第3節 コミュニケーション英語Ⅱ 2.内容</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p><u>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</u></p>	<p>○Writingの「意見展開・統計データなどに対して、自分の意見やその意見の背景となる理由などを書く問題+与えられたトピックに対して、他者の考えなどを取り入れながら意見を展開する問題」 「事実やそれに対する意見や考えを分かりやすく相手に説明する力」を測る。また、Compare to your experienceと指示しており、自身の経験を具体的に挙げ、論理展開を深める力を問うている。</p>

## 16 出題内容 ～学習指導要領との関係(詳細⑥)～

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第5節 英語表現 I 2.内容</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う。</p> <p><u>ア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</u></p> <p><u>イ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</u></p> <p><u>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</u></p>	<p>○Speakingの「会話応答・他者の質問に対して即座に応答する問題」 簡単な発話を聞いて質問に対して自身の意見を述べる問題が出題されており、「話し合ったり意見の交換をしたりする」力を問うている。</p> <p>○Writingの「項目記入・与えられた英文と状況設定を読み、条件にあった内容を書く問題」 指導要領に示されているように、「主題を決め、様々な種類の文章を書く」ことを意識し、状況に合った長さ・適した表現で文章を書く力を問うている。</p>

## 17 出題内容 ～学習指導要領との関係(詳細⑦)～

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第5節 英語表現 I 2.内容</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p><u>エ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。</u></p>	<p>○Writingの「ある立場の人たちの意見が与えられおり、それらのうちいくつかを利用(引用)しながら自身の意見を展開する問題」 指導要領に示されているように、「そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理」して「自分の考えをまとめる」というのは、大学で論文を書くときに必要な力であり、その力を問うている。</p>

# 18 出題内容 ~学習指導要領との関係(詳細⑧)~

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第6節 英語表現Ⅱ 2.内容</p> <p>(1) 生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して、次のような言語活動を英語で行う</p> <p><u>ア 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</u></p> <p><u>イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</u></p> <p><u>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</u></p> <p><u>エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</u></p>	<p>○Speakingの「会話応答・他者の質問に対して即座に応答する問題」 簡単な発話を聞いて質問に対して自身の意見を述べる問題が出題されており、「話し合ったり意見の交換をしたりする」力を問うている。</p> <p>○Speakingの「図表などから得た情報を整理して説明する問題や、自ら質問する問題」 図表(広告や地図)を比較してどちらが良いかを説明したり、質問を考えたりする内容。論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を問うている。</p> <p>○Speakingの「意見展開・他者の質問に対して即座に応答する問題」 他の学生からの質問に対して自身の意見を述べる問題が出題されており、「話し合うなどして結論をまとめる」力を問うている。設問文に「Use your personal knowledge and experience to support your answer.」とあり、指導要領に示されている「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる」力を問うている。</p>

# 19 出題内容 ~学習指導要領との関係(詳細⑨)~

高等学校 学習指導要領 外国語・英語編 第1部 外国語編	GTEC CBT
<p>第2章 外国語科の各科目 第6節 英語表現Ⅱ 2.内容</p> <p>(2) (1)に示す言語活動を効果的に行うために、次のような事項について指導するよう配慮するものとする。</p> <p><u>イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連、表現の工夫などを考えながら書くこと。また、書いた内容を読み返して推敲すること。</u></p>	<p>○Writingの「意見展開・統計データなどに対して、自分の意見やその意見の背景となる理由などを書く問題+与えられたトピックに対して、他者の考えなどを取り入れながら意見を展開する問題」 「事実やグラフに表されるような統計データに対する意見や考えを分かりやすく相手に説明する力」を測る。また、Compare to your experienceと指示しており、自身の経験を具体的に挙げ、論理展開を深める力を問うている。 更に「ある立場の人たちの意見が与えられおり、それらのうちいくつかを利用(引用)しながら自身の意見を展開する問題」では、指導要領で示されているように、「そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理」して「自分の考えをまとめる」というのは、大学で論文を書くときに必要な力であるため、その力を問うている。</p>



## 20 Listening 問題構成

学生生活での会話や講義からの出題で、課題解決に必要な情報を「聞く力」を測定

大学の講義や学生同士の会話など、学生生活でよく出会う場面設定の出題により、実践的なコミュニケーション力を測定。聞き取った内容をもとにタスクに取り組む、課題解決型の出題。

場面設定	出題内容	問題数	試験時間
大学で経験するような講義や学生生活の場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英文を聞いて、全体の概要および要点を把握する問題</li> <li>○与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る問題</li> <li>○会話や講義の内容の論点を把握する問題</li> <li>○話された内容から話し手の意図や話し手との関係性を理解する問題</li> </ul>	約40問	約35分

## 21 Listening 問題例 ~リアル × タスク × CEFR~

## リアル × タスク

＜アカデミックなトピックそして状況に則した出題＞

2人の学生が自分達で行ったリサーチプロジェクトについての話をし、それについて教授が学生たちが理解できているかどうか確認を取っているという設定で、アカデミックな場所でアカデミックな内容が理解できるかを把握する問題。

## CEFR Can-Do

CEFR B1 レベル

⇒ごく身近なテーマと内容で、プレゼンテーションが簡潔で明確な構成を持っているならば、自分の専門の範囲で講義や話を理解できる。

この能力に焦点をあて、学生が必要とする、話されている内容の主旨、詳細の情報を理解する能力を測定している。

思考力

判断力

表現力

※受信技能により

## 22 Listening 問題例 ~CEFR B1 レベル~

### 放送英文

You are in an English language class. Two students are giving a presentation on their research.

### 問題

In class, the professor asks you several questions about the presentation.

What was the purpose of the project?

- To practice writing to native speakers.
- To invite university students to a party.
- To learn new useful phrases.
- To study use of polite language.

Why did the presenters decide to contact students in separate emails?

- To hide the purpose of the research.
- To get better answers from the students.
- To give the students time to plan events.
- To show the professor the first emails.

A: I am going to talk about what we did and then Ahmed will tell you about our conclusions. So, we wanted to know about when Americans, that is native speakers of English, use polite language and when they do not. And we decided that getting students to write invitations for different situations would be the best way to find out.

So first we had to decide exactly what we mean by polite language, to be specific, in invitations. For example, using words like "please" is polite language. Another sign of polite language is using statements like "I hope" and "I wish".

(中略)

Now I will describe our method for collecting data. We asked students, only native speakers though, in the dining hall if we could email them our questions and 58 students said yes. So we wanted to have two different situations, one where we thought students would use polite language and one where we thought they would not. So we sent students two emails, one on Monday then one on Friday so they would not know the purpose of our research. And the first email...it said, "Imagine that you want to invite a professor to come to an event. What would you write?" And then the students sent us their letters that they would send to a professor. Then the second email was the same except we asked them how they would invite a friend to lunch. We collected their responses, their emails.

(後略)

## 23 Reading 問題構成

学生生活で遭遇する情報や、講義内容などの出題で「読む力」を測定

学生生活や講義で実際に遭遇する幅広い媒体・情報から出題し、目的に合わせて概要や要点を把握する力を測定。アカデミックな文章において、著者の意図を理解して言外の意味を読み取る出題もある。

場面設定	出題内容	問題数	試験時間
大学で経験するような講義や学生生活の場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 英文を素早く読んで、全体の概要および要点を把握する問題</li> <li>○ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る問題</li> <li>○ 英文を書いたり話したりするために必要な情報を読み取る問題</li> <li>○ 筆者の意図を推察する問題</li> <li>○ さまざまな意見の中から筆者の意見を特定する問題</li> </ul>	約40問	約55分

## リアル × タスク

〈実際のアカデミックな場面で遭遇するような設定の出題〉

大学のクラスで教授が期末課題に関する情報(いつまでに何をするか)を記した配布物を生徒に渡したという設定で、その内容を正しく理解できるか把握した問題。

## CEFR Can-Do

## CEFR A2 レベル

⇒手紙, パンフレット, 新聞の短い事件記事のような, 簡潔なテキストの中から特定の情報を取り出すことができる。

この能力に焦点をあて, 学生が必要とする, 必要な情報を見つけ理解する能力を測定している。

思考力

判断力

表現力

※受信技能により

## 文章

At the end of class, your professor hands out instructions for a final project.

## Intermediate French, Spring Term

Professor Amelie Girard  
Final Project Instructions

The end of the term is quickly approaching and you will need to complete a final project. Please follow the instructions below:

- 1) On Friday, April 11, meet with me to talk about your story idea.
- 2) Once I approve your idea, write a 500-word story about your family. The story must be in French.
- 3) Put your finished story in my box by Monday, April 21. My box is located just outside of my office.
- 4) On Monday, April 28, I will return your graded papers to you.
- 5) On Wednesday, April 30, all students will read their stories to the class and we will have a class discussion about families. Make sure you read the revised version of the story, taking my comments into account.

## Attention!

If you finish your assignment late, you will lose 20 points. Be sure to pay attention to grammar, and as always, have fun!

## 問題

When do you need to give your professor your story?

- April 11.
- April 21.
- April 28.
- April 30.

What should you do before you begin to write?

- Write a list of questions about your family.
- Talk to your professor about your idea.
- Discuss your story with the class.
- Review the chapter on French grammar.

## 26 Speaking 問題構成

## 会話応答力から自分の意見を述べる力まで幅広く「話す力」を測定

学生生活で英語を使用する場面を想定した、バリエーションのある出題が中心。スピーキング力を構成するInteraction（やりとり）とProduction（発表）の両方を測定。

パート	出題内容	問題数	試験時間	採点基準
1 会話応答問題 Listening and responding	質問に対して即座にかつ適切に 応答する問題	1題 小問6問	2分	○質問の意図に沿って、適切な 応答ができているか
2 情報伝達および照会問題 Delivering and asking for information	Webサイトなどから得た情報を 整理して説明する問題や、 自ら質問する問題	3問	6分	○内容に基づいて、相手に伝わる ような描写説明、問いかけが できているか
3 意見展開問題 Expressing your opinion	○与えられたトピックに対し て、自分の考えや経験に基づ いて意見を述べる問題 ○他者の質問に対して即座に 応答する問題	3問	12分	○自分の意見が述べられているか ○自分の意見をサポートする理由 が添えられているか ○流ちょうさ

Copyright © 2014 Benesse Corporation All Rights Reserved.

## 27 Speaking 問題例 ~リアル × タスク × CEFR~

## リアル × タスク

〈身近でかつアカデミックなトピックについて自分の意見を述べる出題〉

大学教授が英語学習者は英語の発音を良くするよう励むべきかという質問をし、それについて学生が意見を言うという設定で、まず3分準備・3分話す。発話の後、クラスメートからトピックに関連する質問を受け、準備なしで流ちょうに返答することができるかという問題

## CEFR Can-Do

## CEFR B2 レベル

⇒事項を補足しながら関連事例を挙げ、主張を強化、展開することができる。  
⇒一連の質問に、ある程度流ちょうに、自然に対応ができる。話を聞く、あるいは話をする際に聴衆にも自分にも余分な負荷をかけることはない。

この能力に焦点をあて、学生がそれらができるか測定している。

思考力

判断力

表現力



## 28 Speaking 問題例 ~CEFR B2 レベル~

### 発話と応答

You are taking an English class. The professor is giving a lecture on the role of English in the 21st century.

Your professor asks you to present an argument on the following topic:

Some people believe that the learners of English should work hard on their pronunciation. Other people believe that correct pronunciation is not crucial for successful communication. Which position do you support?

- Argue one of these positions.
- Provide at least two pieces of supporting evidence.
- Use your personal knowledge and experience to provide support for your answer. (Three minutes to prepare an answer.)



Your classmate has a question.

- In your opinion, what is the best way to inspire students to learn English?

## 29 Writing 問題構成

### バリエーション豊かな出題で多角的に「書く力」を測定

項目記入, Eメール作成, 意見展開文など様々なタイプの出題で, 書く力を測定。Eメールを書いたり, あるデータについて意見を述べるなど, 学生自身が英語を使って書く実際の場面を想定した出題。

パート		出題内容	問題数	試験時間	採点基準
1	項目記入問題 Completing a form	与えられた英文と状況設定を読み, 条件に合った内容を書く問題	1題 小問4問	4分	○条件に合った内容が書けているか
2	Eメール作成問題 Writing an e-mail	与えられた状況設定を読み, 条件にあったEメールを書く問題	3問	21分	○条件に合ったEメールが書けているか
3	意見展開問題 Writing an essay	○統計データなどに対して, 自分の意見やその意見の背景となる理由などを書く問題 ○与えられたトピックに対して, 他者の考えなどを取り入れながら意見を展開する問題	2問	40分	○自分の意見が書けているか ○自分の意見をサポートする理由が書けているか ○言語運用能力, 論理の一貫性

## 30 Writing 問題例 ~リアル × タスク × CEFR~

## リアル × タスク

<データや外部からの意見をもとに文章を書く場面を想定した出題>

大学のクラスで教授が実社会の問題点、ごみの量とリサイクルの状況を表すデータについて短い要約を学生に書かせるという設定で、外部からのデータなどを把握し文章として表すことができるかを測定する問題。

## CEFR Can-Do

## CEFR B1 レベル

⇒自分の専門範囲の日常的もしくは非日常的な事柄について、集めた事実情報をもとに、総括し、報告できる。

この能力に焦点をあて、データなどを使って文章を書くことができるか測定している。

思考力

判断力

表現力

## 31 Writing 問題例 ~CEFR B1 レベル~

## 課題

You are taking an environmental science class. The professor is giving a lecture about waste and recycling habits.

For homework, your professor asks you to look at a graph the text book, then write about what the graph shows and compare it to your own experience.

Write a short essay about the graph.

Describe the main points of the graph.

Compare the information on the graph to your own experience.



この問題の後に、データに示されている**社会問題**に関わるトピックについて、有識者からの意見などを読んだ上、長文を書くというB2レベルの問題が出る。

English Profileによる「English Vocabulary Profile」に準拠し、  
語彙においてもCEFRの各レベルに合わせた設定となっている。



※English Vocabulary Profileは単なる単語リストではなく、  
熟語やその用例などのデータも含んでいます。

出典：English Profile  
<http://vocabularypreview.englishprofile.org/>

全国の学校・高校生・自治体への様々な支援を実施

4技能・総合的な  
英語力育成の活性化

高校教員  
向け

- 英語指導力向上研究会  
・毎年全国47都道府県で約2,000名を動員

自治体  
向け

- 英語指導改善研究会（文部科学省後援）  
・全国の教育委員会・指導主事対象  
・2012年度より計4回を実施

4技能・総合的な  
学習のアドバイス  
(入試環境変化の理解含む)

高校生  
向け

- GTEC CBT体験&説明会  
・Go Global Japan Expo 2014 参加  
・全国での説明会を2015年開催予定